

外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 T1b、T2 胆嚢癌に対する至適外科治療に関する研究(国際共同研究)

《共同研究の代表機関名・研究代表者》 国立ソウル大学病院・外科 教授 Jang, Jin-Young

《研究の目的》 T1b 胆嚢癌に対する、単純胆のう摘出術(腹腔鏡下手術も含む)の安全性と有用性を検討する。また T2 胆嚢癌における、腫瘍の局在による至適切除範囲についてのガイドラインを作成するため。

《研究期間》 研究許可日～2017年12月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

胆嚢癌の患者さんで、平成18年1月1日から平成28年12月31日の間に胆嚢癌の手術を受けた方

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、病理結果、検査結果（腫瘍マーカー）等

《外部への試料・情報の提供》

データセンターへのデータの提供は、暗証番号にてロックをかけた電子的配信を用いて行います。研究代表者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

《研究組織》

Seoul National University, Korea

Samsung Medical Center, Korea

National Cancer Center, Korea

Kyungpook National University, Korea

Yokohama City University, Japan

Niigata University, Japan

University of La Frontera, Chile

Pontificia Universidad Catolica de Chile, Chile

Emory University, United States of America

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

当院における研究責任者および研究内容の問い合わせ担当者

関西医科大学附属病院

大阪府枚方市新町 2-3-1

電話 072-804-0101 (代表) FAX 072-804-0131

研究責任者：外科 講師 柳本泰明